

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室そらまめキッズ加治木				公表日	令和 8年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・お子さまの状態に合わせて、対応スタッフの人数を変えるなど工夫を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・スケジュール等の構造化に取り組んでおり、お子さまが自立して過ごせるような工夫を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別の部屋があり、お子さま一人ひとりに合わせて部屋を選ぶことができますようになっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・ケア会議を必要に応じて実施したり、業務量や内容を児発管と相談しながら実施するよう努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケートの実施や、相談の時間の確保に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者からの評価を頂く機会がないため、今後充実を図っていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・業務時間内に研修を受けるなど、体制として確保されています。	・今後も、よりよい研修機会を設けていきます。また、個人で勉強したい分野などにも積極的に研修受講機会が持てるように努めてまいります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HPにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・お子さまの様子をアセスメントシート等を基に分析しています。また、保護者からの聞き取りも毎月の事業所内相談の中で細かく実施しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・現場スタッフ個人が意見を言える雰囲気であるため、チームとして検討を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			・お子さま一人ひとりに合う教材を準備しています。また、選択遊びや小集団活動など週ごとに変えるように実施しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			・お子さまの発達や特性、目標に合わせて支援内容を考えています。また、好きなことなど強みを生かした支援を実施できるよう努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			・それぞれの視点で意見を出し合いながら支援内容の決定や役割分担を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・終礼で共有しています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・必要に応じて支援の様子を撮影し、動画によって検証、改善を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			・選択ツールが必要なお子さまには選択ボードを活用し、実施しています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・必要な場合には連携を図ってます。 ・障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携は、お互い協力して取り組めるような関係を作り積極的にアプローチしていくよう努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			・お子さまのことで必要な情報は共有しています。年間行事やトラブル発生時の連絡については、共通理解できていない点があるため、どのように共有していくか方法を検討します。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・現段階で事例はありませんが、必要に応じて情報提供書等の作成など取り組んでいきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・イベントに招待するなど、他の放課後児童クラブなどとの交流を検討していきます。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・開催時には責任者が参加させていた だいてます。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・家族支援や子育てサポート、事業所の連絡帳などを活用して情報共有に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアトレを定期的で開催しています。	・仕事を抱えている親御さんには参加しにくい時間帯なので、今後開催日時の検討をしていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・見学时、契約時に説明を行っています。また変更時、都度説明を行うようにしています。	・初回に説明する事が多く、忘れてしまわれる方もいるので、いつでも手にとれる棚に掲示しているが、周知できていない方が多いため検討していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・家族や本人の意向をしっかりと聞き するよう努めています。	・意思を伝えることが難しいお子さまに関しては、保護者の意思やお子さまがどのように考えているか一緒に検討しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・保護者に対して対面で説明を行い、ご意向を確認しています。必要に応じて、修正を行い保護者のご意向が反映された計画をもって同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			・ペアトレやイベント時にご家族さま同士の交流の機会も担っています。一方で、継続的な支援や交流の役割について周知が不十分であるため、今後機軸的な方法を検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・InstagramやTikiTok、お役立ちコラムなどを通して活動報告や情報共有を行っています。お子さま個人については毎月の評価シートをもって情報共有を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・毎年度はじめ、そらまめシートを活用し、個人情報の取り扱いについて周知、保護者のご意向を確認しています。また、発信する際は、個人名を隠してあるかWチェックを行い配慮しています。	・今後も、個人情報の取り扱いには十分注意してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・PECS®や手話などを用いてお子さま一人ひとりに合ったコミュニケーションを行っています。	・お子さまや保護者のご意向を確認しながらコミュニケーションツールの選択を実施していきたいと思ひます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・無料講演会や体験会等を開催したり、地域のお祭りなどにも出展させていただきながら、地域の方との交流の場を設けています。	・地域の方に向けた事業所でのミニ講演会やイベントなどより身近で参加しやすいイベントも開催していく予定です。
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCP作成を策定しています。また、様々な事態を想定して避難訓練を定期的に実施しています。	・事業所近くの避難場所や避難経路をスタッフ全員で確認、周知できるように定期的に機会を設けてまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・毎年度はじめにそらまめシートの記入を依頼して、確認を行っています。	・年度途中で新たな情報が保護者より共有された際に、終礼等で共有は行っているが、そらまめシートに追記するなど、共有方法を検討していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・毎年度はじめに、そらまめシートの記入を依頼してアレルギーの把握を行っています。また、食材を提供する際は、その都度保護者に確認を行っています。	・食材提供をする際は食材提供内規を元に、実施していきます。

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・Googleフォーム等を活用し、全スタッフで共有できるようにしている。またリスクマップ等の作成を行い、統一認識をはかっている研修を実施しています。	・インシデント・アクシデント報告は多いが、ヒヤリハット報告が少ないため、今後研修を実施予定です。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年に2回研修を実施し、適切な対応を学ぶ機会を設けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束について定期的に研修を実施し、適切な対応を学ぶ機会を設けています。必要な状況においては保護者の方へ同意書を得たり、計画書への記載したりするなど全事業所で共通理解しています。	・研修で学んだことを必要な時にすぐ振り返り現場で活かせるよう、資料を保管するなど徹底して実施してまいります。